

平成 27 年度事業報告書

(平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで)

公益財団法人 能村膜構造技術振興財団

1. 概況

平成 27 年度の事業として、助成金を 15 名、総額 2,148 万円を交付した。

なお、平成 27 年 12 月 2 日～平成 28 年 1 月 22 日に助成交付対象者に、助成金交付書の授与を行い、事業年度内にすべての助成金支給を完了した。

2. 運営について

(1) 第 36 回定時理事会 平成 27 年 4 月 24 日開催

第一号議案：平成 26 年度事業報告

第二号議案：平成 26 年度決算報告

第三号議案：定時評議員会開催の件

報告事項：職務の執行の状況

(2) 第 33 定時評議員会 平成 27 年 5 月 29 日開催

第一号議案：議長互選の件

第二号議案：平成 26 年度決算報告の件

報告事項：平成 26 年度 事業報告

(3) 選考委員会 平成 27 年 11 月 18 日開催

第一号議案：平成 27 年度研究助成金交付対象の選出について

第二号議案：議事録署名人の選任について

(6) 第 37 回定時理事会 平成 28 年 3 月 11 日開催

第一号議案：平成 28 年度事業計画

第二号議案：平成 28 年度収支予算

第三号議案：助成金交付規程改訂の件

報告事項：職務の執行の状況

3. 事業について

(1) 助成事業

平成 27 年度は、募集要項をホームページにて掲載し、広く助成金の応募を募りました

その結果、16件の応募があり、平成27年11月18日に定款及び選考委員会規程に則り、選考委員会が開催され、慎重且つ、十分な議論の上、15件2,148万円が助成対象として選考されました。

記

- ① シェルと空間構造に関する国際会議の研究集会開催とその運営（IASS2016 東京大会）
東京大学生産技術研究 教授
川口 健一 150万円（国際交流）
- ② チタニア膜のマイクロ制御による高効率な色素増感型太陽電池の開発
早稲田大学創造理工学部総合機械工学科学 准教授
梅津 信二郎 150万円（研究開発）
- ③ 膜構造のケーブル・溶着部考慮の形状・裁断図同時解析と試験体による形状確認
鹿児島大学大学院理工学研究科建築学専攻 教授
本間 俊雄 150万円（研究開発）
- ④ 膜材料の藻類付着に関する研究
関西学院大学理工学部生命科学科 教授
松田 祐介 150万円（研究開発）
- ⑤ 膜構造を普及するための教育教材・プログラムの開発、及び大学等における講義の実践
一般社団法人 日本膜構造協会 専務理事
宇都宮 啓史 150万円（学会、研究会）
- ⑥ 省エネテント膜の実現を目指したナノ要素技術の研究
大阪府立大学21世紀科学研究機構 ナノ科学・材料研究センター 特別講師
小菅 厚子 150万円（研究開発）
- ⑦ 子どもとその家族を対象とした膜利用構造物の歴史と未来、その可能性についての教育普及活動
一般財団法人 大阪市教育振興公社 キッズプラザ大阪
ミュージアム・エドゥケーター
石川 梨絵 150万円（学会、研究会）

- ⑧ 中古の Andoroid 端末と MVNO を活用し、初期コストおよび運用コストを低減した、コンテナバック向けの位置情報発信システム
東京大学大学院情報理工学系研究科 准教授
川原 圭博 150 万円 (研究開発)
- ⑨ 振動発電応用に向けたフレキシブル酸化物薄膜の開発
東北大学金属材料研究所 助教
白石 貴久 100 万円 (研究開発)
- ⑩ 若者のための新国立競技場国際コンペ開催とその運営
名古屋大学 名誉教授
大森 博司 150 万円 (学会、研究会)
- ⑪ AR/VR を応用した膜構造技術に関する環境デザインシステムに関する研究
大阪大学大学院工学研究科 環境・エネルギー工学専攻 准教授
福田 知弘 100 万円 (研究開発)
- ⑫ 内水氾濫頻発区域における膜技術の適用可能性に関する研究
東北大学大学院環境科学研究科 准教授
小森 大輔 148 万円 (研究開発)
- ⑬ 粘土複合膜のナノ組成操作による電磁波吸収膜の創製
国立研究開発法人 産業技術総合研究所 化学プロセス研究部門
主任研究員
中村 孝志 150 万円 (研究開発)
- ⑭ 廃棄物最終処分場の跡地利用 (太陽光発電等) における安全性向上
国立研究開発法人 国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター
廃棄物適正処理処分研究室 主任研究員
遠藤 和人 150 万円 (研究開発)
- ⑮ 膜構造を活用した彫刻および空間造形、建築の研究
京都造形芸術大学大学院芸術研究科 教授
名和 晃平 150 万 (研究開発)